

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山おおたかの森駅前市有地活用事業				会計	款	項目	大	小
					01	02	01	10	01
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）			主管課	誘致推進課			
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備			主管課長	武井 厚			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山おおたかの森駅周辺	意図	市の新拠点として発展する。
事業内容	本市の新拠点を形成するために、民間活力を活かした事業手法により、流山おおたかの森駅前市有地に行行政・文化・商業・業務など複合的な機能を持つ施設を整備する。導入機能、事業スキーム及び事業条件等の検証を行った上で事業者の公募、選定を行い、整備に向けて関係機関等との調整を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年11月に「市有地活用基本方針」を策定・公表。平成26年度に区画整理事業者から市有地の引渡し時期が平成27年度末と示される。平成26年10月に公募支援業務の受託者を選定。副市長を座長とした市有地活用検討会議を開催。平成27年3月に外部有識者等5名で構成する「事業者選定委員会」を発足。平成27年3月に「実施方針」等を策定・公表。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	建設工事着手面積率	0			
②	流山おおたかの森駅周辺人口	18,215	20,477	22,422	人	↑↑↑	駅から半径1km内の大字の住民基本台帳人口（年度末）
③	TX流山おおたかの森駅1日当り乗車人数	31,850	32,100	33,133	人	↑↑↑	TXホームページから数値取得
④	東武流山おおたかの森駅1日当り乗車人数		52,406	26,711	人	↑↑↑	東武鉄道ホームページから数値取得
指標で表すことができない定性的な成果	流山おおたかの森駅周辺における賑わいの創出と交流人口の増加。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年11月に優先交渉権者にスタートコーポレーショングループが決定。</li> <li>基本設計における設計内容の調整を図るため、設計調整会議を11回開催した。</li> <li>市有地活用検討会議を5回開催した。</li> </ul>			
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,096,100	10,499,920	11,352,600				
事業費(b)(円)		3,589,920	57,600				
うち一般財源		3,589,920	57,600				
職員給与費(c)(円)	2,096,100	6,910,000	11,295,000				
人役・職員(人)	0.30	1.00	1.50				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	優先交渉権者の決定。	③取組の課題	基本設計及び実施設計の承認。
②今年度(H27)に実施した取組	検討会議及び設計調整会議の開催。	④今後の改善計画	関係課及び事業者との協議。